

No	領域 (モジュール)	アドオン対象件名	機能概要	対象サブ プロセス		受益部門	効果		プログラムタイプ	構成要素									工数 (人日)			判定結果	備考
				ID	名称		定性	定量		出力項目数	内部処理	定型フォーム	更新項目数	更新画面数	更新先トランザク ション数	テーブル/ タブ制御	読込DB数	読込/出力ファイ ル数	ファイル項目数	設計	開発	合計	
1																							
2																							
3																							
4																							
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
21																							
22																							
23																							
24																							
25																							
26																							
27																							
28																							
29																							
30																							
31																							
32																							
33																							

No.	各レコードを一意に判別するためのNo.を記述する。
チーム	当機能の主管チームを記述する。
対象業務プロセス	業務一覧のプロセスIDおよびプロセス名を記述する。複数のプロセスにて当該機能が利用される場合は、関連プロセスを全て記述する。
アドオン対象件名	機能名を記述する。
機能概要	概要概要を記述する。
受益部門	当機能を開発することで受益のある部門を記述する。
効果	定性効果（業務効率化、内部統制強化、など）と定量効果（年間あたりの削減工数）を記述する。
種別	アドオンの機能を帳票、インターフェイスなどに分ける
出力項目数	帳票に出力する項目数を記述する。
内部処理	ブレイクなし、ブレイクあり、複雑なブレイク・特殊機能の中から選択する。
定型フォーム	有、無の中から選択する。
更新項目数	更新する項目数を記述する。
更新先トランザクション数	更新先のトランザクション数を記述する。
テーブル/タブ制御	有、無の中から選択する。
読込DB数	読み込む主要なDB数を記述する。
ファイル数	読み込むまたは出力するファイル数を記述する。
ファイル項目数	ファイルの項目数を記述する。
工数	設計工数と開発工数に分けて見積もり、工数を記述する。
判定結果	アドオン審査結果を記述する。
備考	

成果物ID	XXX1234	文書	レビュー・変更履歴	作成		
成果物名	開発対象一覧			更新		

No.	Ver.	作成・変更日	作成・変更者	作成・変更内容	レビュー・承認日	レビュー・承認者
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
9						
10						
12						
13						
14						
15						
16						
17						